

競技上の注意事項

- 1 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の開催要項による。
- 2 本大会は、日本陸上競技連盟広告規定を適用する。
- 3 ウレタン舗装以外の部分を通るときは、スパイクシューズは脱ぐこと。
- 4 更衣室は、更衣のみに使用し更衣後の荷物は、各自で管理すること。コインロッカーは使用可能です。
- 5 参加資格は、下記の通りとする。
- (1) 2025年度山口陸上競技協会に登録している競技者及びふるさと登録競技者であること。
- (2) 年令基準
- ① 成年の部 2007年(平成19年)4月1日以前に生まれた者。
- ② 少年Aの部 2007年(平成19年)4月2日以降2009年(平成21年)4月1日までに生まれた者。
- ③ 少年Bの部 2009年(平成21年)4月2日以降に生まれた者。但し、中学生は、3年生のみ参加できる。
- 6 招集所(競技者係)は第2ゲート外側付近に設ける。招集時刻に遅れた場合は競技から除外されたものとみなす。
- 欠場する場合は、欠場届を必ず事前に「山口陸協事務局」に提出すること。(大会当日の提出先は、「TIC」とする。)
- 招集の時刻は トラック競技 競技開始の30分前に開始し20分前に完了する。
- 組ごとに招集時刻が異なるので、日程表に記載の競技開始時刻を要確認のこと。
- フィールド競技 競技開始の50分前に開始し40分前に完了する。但し、ハンマー投・円盤投・やり投・棒高跳は、競技開始の70分前に開始し60分前に完了とする。
- 7 トラック競技での800m及び1500mのレースは右腰に、2000m以上のレースは左・右両腰に腰ビブス(主催者準備)を着けること。いずれも、招集時に競技者係より受取ること。
- 8 25名以上出場の3000m・5000mのスタートは、グループスタートとする。
- 9 トラック競技は次の要領で荷物運搬を行う。**(ナイター種目を除く)**
- ①各自で透明のビニール袋(70ℓ程度)を準備すること。(T I Cで購入可) ②ナンバーと氏名を記入する。
- ③スタート地点で衣類を入れ、所定の位置に置く。 ④競技役員が運搬する。
- ⑤フィニッシュ地点で荷物を受け取り退場する。
- 10 競技用シューズは、日本陸上競技連盟規則TR5.2(競技用靴に関する規程も参照のこと)を適用する。
- スパイクは全天候舗装用とし、その長さは9mm以下とする。ただし、走高跳及びやり投げは12mm以下とする。
- 11 用器具等については、日本陸上競技連盟規則によるもののほか、下記の要領で実施する。

「ハードル設置」

單位：m

	１００mH		１１０mH		３００mH		４００mH	
	成年女	少女共	成年男	少男共	少男A	少女A	成年男	成年女
ハードルの台数	10	10	10	10	8	8	10	10
ハードルの高さ	0.838	0.838	1.067	0.991	0.914	0.762	0.914	0.762
第１ハードルまでの距離	13.000	13.000	13.720	13.720	45.000	45.000	45.000	45.000
ハードルの間隔	8.5000	8.500	9.140	9.140	35.000	35.000	35.000	35.000
最終ハードルからの距離	10.500	10.500	14.020	14.020	10.000	10.000	40.000	40.000

「用具の重量」

単位：kg

	成年男	少男A	少男B	成年女	少女共
ハンマー投	—	6.000	—	4.000	—
円 盤 投	2.000	1.750	—	—	—
や り 投	0.800	0.800	—	0.600	0.600
砲 丸 投	7.260	—	5.000	4.000	—

- 12 トラック競技のタイムレースで、出場者が9人以内になった場合は1レースで実施する。
- 13 男子・女子走幅跳は、A・Bピットの同時進行で実施する。
- 14 三段跳の踏切板の位置は、原則として砂場から男子11m、女子9mとするが最終的には跳躍審判長が決定する。
- 15 競技用具は主催者が用意したものを使用すること。ただし、棒高跳のポール以外の個人所有の用器具の使用希望者は、競技開始1時間前までに検査申請書(検査場所に配置)を提出し係員の検査を受けること。その場合、合格したものは、主催者が預かり、出場者全員が使用できるものとする。
検査場所は用器具庫1(第4ゲート横)で行う。競技終了後、同場所で返却する。
- 16 滑り止め(炭グ)は主催者が準備したものを使用する。不足する場合は各自で準備すること。
- 17 バーの上げ方は次のとおりとする。(天候などにより変更することがある)
走 高 跳 : 男 子 1m65 から 2m00 までは5cm きざみ。その後は3cm きざみ。
女 子 1m35 から 1m55 までは5cm きざみ。その後は3cm きざみ。
棒 高 跳 : 男 子 2m00 から 3m60 までは20cm きざみ。その後は10cm きざみ。
女 子 1m80 から 10cm きざみ。
- 18 補助陸上競技場での練習は9時30分から16時までとする。
補助陸上競技場は、1・2レーン中は・長距離練習、3〜5レーンはスタート練習、6〜8レーンはハードル練習とする。
ハードルの設置は、スタートから3台目までとする。
- 19 補助陸上競技場でのやり投の投てき練習は、つきさしと助走練習のみとする。また、ハンマー投、円盤投の投てき練習は、競技開始60分前から本競技場内で実施する。いずれも競技役員の指示に従い、安全には十分注意して行うこと。
- 20 携帯電話・アップルウォッチ、その他通信が可能な機器や、ラジオ・CD・iPod等、遊興機器の競技場内への持込みを禁止する。
- 21 競技中に発生した傷病については本部で応急処置は行うが、その後は本人の責任において処置すること。
- 22 芝生内での水分補給は「水」のみとする。スポーツドリンク等は持ち込まないこと。
- 23 競技者が走行・歩行不能(即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態)となった場合、本人がなお競技続行の意思を示しても審判長(または権限を委譲された審判員)が中止を命じた時は、直ちに競技を中止しなければならない。
- 24 メインスタンド1階への選手の入退場は、第1・4ゲートの出入口を利用すること。(正面玄関からの入退場は禁止)
- 25 雨天走路の利用は一方通行(東から西)とする。又、競技開始時刻後の出入りは北側出入口のみとする。
- 26 競技終了後は、ダッグアウトを通過して第1ゲートから退場すること。
- 27 競技場周辺のジョギング・ウォーキングコースは、市民の方も利用されますので練習は禁止する。
- 28 勝手に壁、扉等にテープや押しピン等での張り紙は禁止する。
- 29 本大会における場内での応援及び撮影等について
 - ・カメラの持込み及び撮影は禁止する。但し、スマートフォンやタブレットによる撮影は規制対象外とする。
 - ・スタンド最前列(コーチ席を除く)での撮影(スマートフォン・タブレット)は禁止する。
 - ・スタンド最前列での立っての観覧・応援及び車いすエリアでの観覧・応援は禁止する。